

大学

健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻
解剖学実習（解剖組織学実習）
小木曾昇教授

人体の構造に関する知識を修得し、
臨床検査技師の基礎力を培う。

人体の構造を学ぶ解剖学は、医学の基盤となる学問です。臨床検査学専攻1年次の「解剖学実習（解剖組織学実習）」では、光学顕微鏡での組織標本の観察などを通して、正常な人体の細胞、組織、器官、器官系の名称から位置、大きさ、機能までを理解します。担当教員の小木曾先生は、ただ観察するだけでなく、スケッチをすることで「一つひとつの特徴を掴むよう学生にアドバイス。的確に検査・分析し、多くの人々の予防や治療に貢献する、その職務を担う臨床検査技師をめざす者として心に留めておきたいのは『正常を知らずして、異常は分からない』ということ。解剖学の知識をしつかりと修得することは、卒業後、チーム医療や基礎研究など幅広い現場で活躍する上で底力となるでしょう。自らの手を動かして学び、人体への理解を深めてほしい」と小木曾先生は学生の将来を見据えた指導に力を入れています。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

中学校

愛知淑徳中学校
音楽
佐野啓子教諭

クラスの仲間と合唱を楽しみ、
豊かな表現力や協調性を育む。

愛知淑徳中学校の音楽は、学校行事と連動しています。学園祭で発表するクラス合唱に向けて、中学2年生では女声3部合唱に取り組みます。校歌を練習曲として、パートに分かれて歌う経験を重ねた後、クラスごとに合唱曲を選定。生徒が主体となって練習に励み、美しいハーモニーを追求して、その成果を舞台上で披露します。「歌は、自分の心を込めて伝えることができる、表現ツールのひとつです。歌唱の基本を身につけ、合唱のステージに立つことで、この先プレゼンテーションや面接試験などのさまざまな場面にも通じる表現力が豊かに養われるでしょう」と語る、音楽教諭の佐野先生。クラスの仲間と目標に向かって団結することが、協調性やリーダーシップを鍛える機会にもなると期待を寄せます。一人ひとりの成長を支える、音楽の力。愛知淑徳には今日も、生徒の明るい歌声が響いています。

